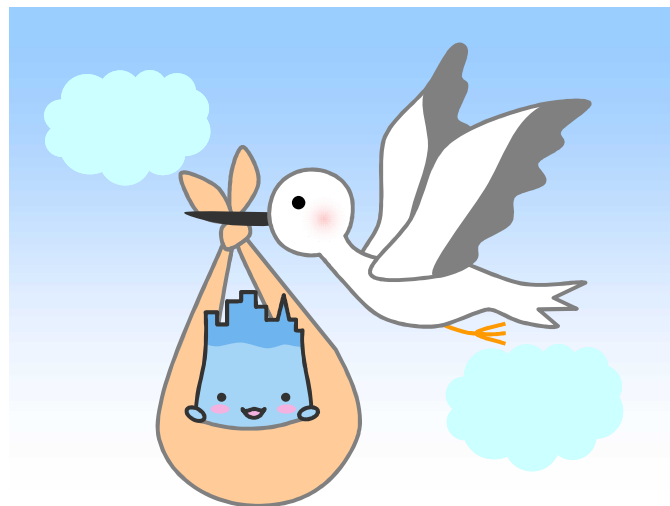


令和2年度 魚津市当初予算資料

特定政策分野 主要事業



魚津市イメージキャラクター
「ミラたん」

《 心躍る うるおいの舞台 魚津 笑顔で絆つなぐまち 》

特定政策分野を推進する主要事業

①子育て支援		R2事業費	事業担当	資料頁
新規	◇産後ヘルパー派遣モデル事業 産後2カ月までの母体が一番つらい時期に、家事代行サービス利用料の一部を助成することで、家事負担の軽減や環境の激変による母親の心理的負担を軽減する。	430千円	こども課	P.9
継続	◇市立保育所大規模修繕事業 経田保育園調理室外改修工事 29,766千円 青島保育園煙突上部撤去工事 5,500千円	35,266千円	こども課	P.10
拡充	◇子ども健診事業 聴覚及び視覚の異常の早期発見・早期治療を目的として、新たに新生児聴覚検査費の助成や視覚検査機器の導入により、子どもに関する健診体制の充実を図る。	2,488千円	健康センター	P.11
新規	◇子宮頸がん検診 HPV検査導入モデル事業 現在実施している子宮頸がん検診(細胞診)に併せてHPV(ヒトパピローマウイルス)検査をモデル的に導入することで、若い世代に対する健康づくりの推進や効果的で精度の高い子宮頸がん検診の体制について検討するもの。	3,443千円	健康センター	P.12
拡充	◇公園施設長寿命化対策事業 公園施設の計画的な維持修繕、更新を行い施設の長寿命化を図りながら、誰もが安全で安心して利用でき、魅力ある公園づくりを目指す。 令和元年度3月補正前倒し分 令和2年度当初予算分	30,000千円 30,000千円	都市計画課	P.13
新規	◇ふれあい・展示グレードアップ事業(水族館事業特別会計) 従来の見せるのみのイベントを、飼育員との「ふれあい・対話」型にすることで、解説パネル等では伝えられないタイムリーな情報を伝え、魚津水族館の魅力をより知っていただく。	2,347千円	水族博物館	P.14

②教育環境充実		R2事業費	事業担当	資料頁
拡充	<u>◇ICT環境整備事業(GIGAスクール構想の実現)</u> 市内小中学校の高速大容量の通信ネットワーク環境整備、中学校1年、小学校5～6年の学習用端末整備する。	176,698千円	教育総務課	P.15
拡充	<u>◇電子黒板整備事業</u> 小学校の全ての普通教室(61教室)に電子黒板を導入するもの。既存14台に加えて令和2年度は47台導入。	6,200千円	教育総務課	P.16
新規	<u>◇デジタル教科書導入</u> 小学校の新学習指導要領の全面実施に伴い指導者用デジタル教科書導入するもの。(国語6学年分、算数6学年分、英語5～6学年分)。	5,203千円	学校教育課	P.17
新規	<u>プログラミング教育推進事業</u> 民間や学校と連携して、プログラミング教育推進チームを組織し、プログラミング教育計画を策定する。	941千円	学校教育課	P.18
拡充	<u>英語教育推進事業</u> 小学校のALTの配置を2名→3名に増員するもの。	26,033千円	学校教育課	P.19
新規	<u>◇国登録文化財普及啓発事業(文化財保存事業)</u> 東山円筒分水槽、御旅屋跡の新たな文化財を追加した解説冊子やパンフレットを作成。また、大町海岸公園に解説版を設置し、地域資源の魅力をUPさせる。	2,000千円	生涯学習・スポーツ課	P.20
新規	<u>◇日本ボッチャ選手権開催支援事業</u> パラリンピック正式種目のボッチャ競技の普及・PRを推進するとともに、大会の開催を通して、魚津市の魅力を全国にPRする。	1,163千円	生涯学習・スポーツ課	P.21
新規	<u>◇東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー事業</u> オリンピック聖火リレーミニセレブレーションやパラリンピック採火を市民一体となって実施し、東京オリンピック・パラリンピックの機運を醸成する。	3,000千円	生涯学習・スポーツ課	P.22
新規	<u>◇東京オリンピック・パラリンピックPR事業</u> 市役所やありそドームにオリンピック・パラリンピックに関連したパネル展示や市出身の出場選手のポスター等も展示し、東京オリンピック・パラリンピックの機運を醸成する。	1,274千円	生涯学習・スポーツ課	P.23
新規	<u>◇トップアスリートによるスポーツ教室開催事業</u> 国内トップアスリートを招聘し、小中高校生等を対象にスポーツ教室を開催する。	1,130千円	生涯学習・スポーツ課	P.24
新規	<u>◇ふれあい・展示グレードアップ事業(水族館事業特別会計)</u> 従来の見せるのみのイベントを、飼育員との「ふれあい・対話」型にすることで、解説パネル等では伝えられないタイムリーな情報を伝え、魚津水族館の魅力をより知っていただく。	2,347千円	水族博物館	P.14 (再掲)

③観光振興		R2事業費	事業担当	資料頁
新規	<u>◇魚津の果樹応援事業</u> 魚津の特産品である果樹を活かし、未来につながるファンを着実につくるため、ファミリー層を対象にした収穫・作業体験の実施や製菓学校と連携し加工品開発や試作品などの販売を実施。	738千円	農林水産課	P.25
新規	<u>◇東山円筒分水槽周辺整備事業</u> 「東山円筒分水槽」は、令和2年度中に国の登録有形文化財(建造物)に登録予定であり、見学者や観光客の増加が見込まれることから、隣接地にポケットパーク等を整備し、見学者や観光客の利便性と円筒分水槽の認知度向上、ひいては地域の賑わい創出につなげる。	20,064千円	環境安全課 建設課	P.26
新規	<u>◇東山円筒分水槽PR事業〜うおづの水がもたらすモノ〜</u> 日本橋とやま館においてパネル展示・果樹加工品等の販売等、魚津の恵まれた水がもたらす豊かな自然と食にスポットを当ててPRすることで魚津市の知名度UPと観光客の誘致につなげる。	660千円	企画政策課	P.27
拡充	<u>◇観光・物産宣伝事業(映画ロケ地等PRキャンペーン)</u> 富山県ロケーションオフィス及びロケが行われた自治体と連携したプロモーション活動を行うことで、本市の魅力を発信する(令和2年度公開予定作品: 映画「大コメ騒動」ほか)。	1,500千円	商工観光課	P.28
新規	<u>◇「魚津浦の蜃気楼」企画展事業</u> 江戸時代に魚津で描かれたユニークな蜃気楼画『喜見城之図』の実物展示等を通して蜃気楼を観光資源として市内外にアピールする。	1,500千円	埋没林博物館	P.29
新規	<u>◇北陸風景街道交流会議開催事業</u> 北陸地区の日本風景街道登録ルート間の情報交換・人的交流を目的とした「北陸風景街道交流会議」を、令和2年11月に魚津市で開催する。	388千円	建設課	P.30
新規	<u>◇シティプロモーション事業(動画制作)</u> 四季折々の自然やイベントを通じた魚津市の魅力を、コンパクトに凝縮したイメージ動画を作成し、観光キャンペーンや移住・定住フェア会場での活用、ホームページや、動画サイトなど、各種媒体や機会積極的に発信する。	1,500千円	企画政策課	P.31
新規	<u>◇片貝コミュニティセンター化事業</u> 令和2年4月から予定している宿泊事業開始に伴い、片貝公民館をコミュニティセンターに移行する。	5,017千円	地域協働課	P.32
新規	<u>◇国登録文化財普及啓発事業(文化財保存事業)</u> 東山円筒分水槽、御旅屋跡の新たな文化財を追加した解説冊子やパンフレットを作成。また、大町海岸公園に解説版を設置し、地域資源の魅力をUPさせる。	2,000千円	生涯学習・スポーツ課	P.20 (再掲)

④産業振興		R2事業費	事業担当	資料頁
拡充	<u>◇ふるさと寄附推進事業</u> 寄附者へ贈る特産品をとおして、魚津市の魅力を伝える。 5つのふるさと納税ポータルサイトで寄附受付、返礼品数追加（現在167品⇒250品）。	<u>200,000千円</u>	企画政策課	P.33
拡充	<u>◇サテライトオフィス設置促進事業</u> 市内においてサテライトオフィスを誘致することにより、市内への人の流れを促進し、新たな雇用の創出やU/Iターンの推進を図る。	<u>17,854千円</u>	商工観光課	P.34
拡充	<u>◇企業立地事業</u> 市内における工場・事業所等の新規立地及び事業拡張による増設に対して助成を行うことにより、市内企業の振興及び雇用の拡大を図る。	<u>28,102千円</u>	商工観光課	P.35
新規	<u>◇森林経営管理事業（森林環境譲与税活用事業）</u> 過去10年以上、森林整備が行われていない民有の人工林を対象に、その所有者に対して意向調査を実施、調査結果をふまえて、市が森林経営管理の委託を受け森林整備を行う。令和2年度は、約20haの森林について意向調査を実施し、将来の森林整備実施に向けた必要な準備として、境界確認や、森林経営管理に関する計画の策定を行う。	<u>14,002千円</u>	農林水産課	P.36

⑤魅力的なまちづくり		R2事業費	事業担当	資料頁
新規	<u>◇がん患者補正具購入費用助成事業</u> がん患者の医療用ウィッグ(かつら)や乳房補正具の購入費用の一部を助成	200千円	健康センター	P.37
新規	<u>◇東京大学インターンシップ受入事業</u> 富山県と合同で東京大学の学生をインターンシップで受入れ、市内の視察や関係者との協議を通じ、公共施設の活用策や市民参画と協働のまちづくりなどについて提言を受ける。市内高校生との交流(合同でのフィールドワーク、高校生宅へのホームステイ)を行う。	188千円	地域協働課	P.38
新規	<u>◇転入者への博物館共通年間パスポート購入者への半額補助</u> 転入者に両博物館の共通年間パスポートの購入代金の半額を補助することで、博物館の魅力を感じ、また、広く発信してもらう。	175千円	地域協働課	P.39
新規	<u>◇観光客に向けた津波避難誘導啓発事業</u> 空撮の写真を活用し、津波発生時の避難経路等を視覚的にわかりやすくした看板を作成し、設置することで、観光客の津波からの速やかな避難につなげる。海の駅「蟹気楼」、ミラージュランドに設置予定。	462千円	総務課	P.40
新規	<u>◇ため池ハザードマップ作成事業</u> 平成30年度の調査で新たに防災重点ため池に指定された5池のため池のハザードマップを作成する。	1,900千円	農林水産課	P.41
拡充	<u>◇魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業</u> 北鬼江一丁目地内交差点部の渋滞を緩和するために、右折レーンを新設する拡幅改良整備工事を実施。 令和元年度3月補正前倒し分 令和2年度当初予算分	40,000千円 16,500千円	都市計画課	P.42
新規	<u>◇カメラ搭載型ドローン配置</u> 災害発生時に安全かつ速やかに被災状況の確認を行うためのカメラ搭載型ドローンを配置し、災害に強いまちづくりを目指す。	1,000千円	建設課	P.43
新規	<u>◇上下水道料金等支払方法拡充事業(コンビニ収納開始)(水道事業会計)</u> 上下水道料金及び開栓手数料のコンビニエンスストア収納を開始し、上下水道使用者の利便性向上を図る。	9,431千円	水道課	P.44
拡充	<u>◇公園施設長寿化対策事業</u> 公園施設の計画的な維持修繕、更新を行い施設の長寿化を図りながら、誰もが安全で安心して利用でき、魅力ある公園づくりを目指す。 令和元年度3月補正前倒し分 令和2年度当初予算分	30,000千円 30,000千円	都市計画課	P.13 (再掲)
新規	<u>◇ふれあい・展示グレードアップ事業(水族館事業特別会計)</u> 従来の見せるのみのイベントを、飼育員との「ふれあい・対話」型にすることで、解説パネル等では伝えられないタイムリーな情報を伝え、魚津水族館の魅力をより知っていただく。	2,347千円	水族博物館	P.14 (再掲)
新規	<u>◇国登録文化財普及啓発事業(文化財保存事業)</u> 東山円筒分水槽、御旅屋跡の新たな文化財を追加した解説冊子やパンフレットを作成。また、大町海岸公園に解説版を設置し、地域資源の魅力をUPさせる。	2,000千円	生涯学習・スポーツ課	P.20 (再掲)
新規	<u>◇魚津の果樹応援事業</u> 魚津の特産品である果樹を活かし、未来につながるファンを着実につくるため、ファミリー層を対象にした収穫・作業体験を実施や製菓学校と連携し加工品開発や試作品などの販売を実施。	738千円	農林水産課	P.25 (再掲)

⑤魅力的なまちづくり		R2事業費	事業担当	資料頁
新規	◇<u>東山円筒分水槽周辺整備事業</u> 「東山円筒分水槽」は、令和2年度中に国の登録有形文化財(建造物)に登録予定であり、見学者や観光客の増加が見込まれることから、隣接地にポケットパーク等を整備し、見学者や観光客の利便性と円筒分水槽の認知度向上、ひいては地域の賑わい創出につなげる。	20,064千円	環境安全課 建設課	P.26 (再掲)
新規	◇<u>東山円筒分水槽PR事業～うおづの水がもたらすモノ～</u> 日本橋とやま館においてパネル展示・果樹加工品等の販売等、魚津の恵まれた水がもたらす豊かな自然と食にスポットを当ててPRすることで魚津市の知名度UPと観光客の誘致につなげる。	660千円	企画政策課	P.27 (再掲)
新規	◇<u>「魚津浦の蜃気楼」企画展事業</u> 江戸時代に魚津で描かれたユニークな蜃気楼画『喜見城之図』の実物展示等を通して蜃気楼を観光資源として市内外にアピールする。	1,500千円	埋没林博物館	P.29 (再掲)
新規	◇<u>北陸風景街道交流会議開催事業</u> 北陸地区の日本風景街道登録ルート間の情報交換・人的交流を目的とした「北陸風景街道交流会議」を、令和2年11月に魚津市で開催する。	388千円	建設課	P.30 (再掲)
新規	◇<u>シティプロモーション事業(動画制作)</u> 四季折々の自然やイベントを通じた魚津市の魅力を、コンパクトに凝縮したイメージ動画を作成し、観光キャンペーンや移住・定住フェア会場での活用、ホームページや、動画サイトなど、各種媒体や機会積極的に発信する。	1,500千円	企画政策課	P.31 (再掲)
新規	◇<u>片貝コミュニティセンター化事業</u> 令和2年4月から予定している宿泊事業開始に伴い、片貝公民館をコミュニティセンターに移行する。	5,017千円	地域協働課	P.32 (再掲)
拡充	◇<u>ふるさと寄附推進事業</u> 寄附者へ贈る特産品をとおして、魚津市の魅力を伝える。 5つのふるさと納税ポータルサイトで寄附受付、返礼品数追加(現在167品⇒250品)。	200,000千円	企画政策課	P.33 (再掲)

⑥人口減少・高齢社会対策		R2事業費	事業担当	資料頁
拡充	◇介護予防通所型予防事業 <u>さんさん介護予防倶楽部 ジャ〜んとこい</u> (介護保険事業特別会計) 交通の利便性や高い集客力のある魚津ショッピングスクエアサンプラザ内で、65歳以上の高齢者を対象に、運動機能向上プログラムや認知症予防プログラム等を行う介護予防教室を実施し、高齢者の介護予防の推進及び普及啓発を図る。	10,142千円	社会福祉課	P.45
拡充	◇生活支援サービス事業(介護保険事業特別会計) 経田地区振興協議会が行う①地域住民主体の介護予防通所型サービスB事業、②高齢者の通いの場の創出、介護予防・重度化防止、③多世代交流の場といったコミュニティカフェ事業を支援し、地域の高齢化が進むなか、介護予防を起点とした新しいまちづくりの展開や地域コミュニティの活性化を図る。	2,300千円	社会福祉課	P.46
新規	◇フレイル予防推進事業(介護保険事業特別会計) 高齢者の多くは加齢による心身が老い衰えた状態(フレイル)を経て、徐々に要介護状態に陥るといわれている。今後も高齢化が進み、要支援・要介護認定者が増加すると見込まれるなか、より早期からのフレイル予防を実践し介護予防と健康寿命の延伸を図る。	6,314千円	社会福祉課	P.47
新規	◇産後ヘルパー派遣モデル事業 産後2カ月までの母体が一番つらい時期に、家事代行サービス利用料の一部を助成することで、家事負担の軽減や環境の激変による母親の心理的負担を軽減する。	430千円	こども課	P.9 (再掲)
継続	◇市立保育所大規模修繕事業 経田保育園調理室外改修工事 29,766千円 青島保育園煙突上部撤去工事 5,500千円	35,266千円	こども課	P.10 (再掲)
拡充	◇子ども健診事業 聴覚及び視覚の異常の早期発見・早期治療を目的として、新たに新生児聴覚検査費の助成や視覚検査機器の導入により、子どもに関する健診体制の充実を図る。	2,488千円	健康センター	P.11 (再掲)
新規	◇子宮頸がん検診 HPV検査導入モデル事業 現在実施している子宮頸がん検診(細胞診)に併せてHPV(ヒトパピローマウイルス)検査をモデル的に導入することで、若い世代に対する健康づくりの推進や効果的で精度の高い子宮頸がん検診の体制について検討するもの。	3,443千円	健康センター	P.12 (再掲)
拡充	◇公園施設長寿命化対策事業 公園施設の計画的な維持修繕、更新を行い施設の長寿命化を図りながら、誰もが安全で安心して利用でき、魅力ある公園づくりを目指す。 令和元年度3月補正前倒し分 令和2年度当初予算分	30,000千円 30,000千円	都市計画課	P.13 (再掲)
新規	◇日本ボッチャ選手権開催支援事業 パラリンピック正式種目のボッチャ競技の普及・PRを推進するとともに、大会の開催を通して、魚津市の魅力を全国にPRする。	1,163千円	生涯学習・スポーツ課	P.21 (再掲)
新規	◇東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー事業 オリンピック聖火リレーミニセレブレーションやパラリンピック採火を市民一体となって実施し、東京オリンピック・パラリンピックの機運を醸成する。	3,000千円	生涯学習・スポーツ課	P.22 (再掲)
新規	◇東京オリンピック・パラリンピックPR事業 市役所やありそドームにオリンピック・パラリンピックに関連したパネル展示や市出身の出場選手のポスター等も展示し、東京オリンピック・パラリンピックの機運を醸成する。	1,274千円	生涯学習・スポーツ課	P.23 (再掲)

⑥人口減少・高齢社会対策		R2事業費	事業担当	資料頁
新規	<u>◇トップアスリートによるスポーツ教室開催事業</u> 国内トップアスリートを招聘し、小中高校生等を対象にスポーツ教室を開催する。	1,130千円	生涯学習・スポーツ課	P.24 (再掲)
新規	<u>◇魚津の果樹応援事業</u> 魚津の特産品である果樹を活かし、未来につながるファンを着実につくるため、ファミリー層を対象にした収穫・作業体験の実施や製菓学校と連携し加工品開発や試作品などの販売を実施。	738千円	農林水産課	P.25 (再掲)
新規	<u>◇東京大学インターンシップ受入事業</u> 富山県と合同で東京大学の学生をインターンシップで受入れ、市内の視察や関係者との協議を通じ、公共施設の利活用策や市民参画と協働のまちづくりなどについて提言を受ける。市内高校生との交流(合同でのフィールドワーク、高校生宅へのホームステイ)を行う。	188千円	地域協働課	P.38 (再掲)
新規	<u>◇転入者への博物館共通年間パスポート購入者への半額補助</u> 転入者に両博物館の共通年間パスポートの購入代金の半額を補助することで、博物館の魅力を感じ、また、広く発信してもらう。	175千円	地域協働課	P.39 (再掲)
拡充	<u>◇魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業</u> 北鬼江一丁目地内交差点部の渋滞を緩和するために、右折レーンを新設する拡幅改良整備工事を実施。 令和元年度3月補正前倒し分 令和2年度当初予算分	40,000千円 16,500千円	都市計画課	P.42 (再掲)

子育て支援

人口減少・高齢社会対策

＜新規＞ 産後ヘルパー派遣モデル事業

【目的】

産後2カ月までの母体が一番つらい時期に、ヘルパーを派遣し家事・育児支援を行い、環境の激変や過労による負担の軽減を図ることで、母親の産後うつ対策、夫婦の子供への愛着形成と家族形成(第2子以降)に資する。

(県事業名:家族でハッピー！産後ヘルパー派遣モデル事業)

【概要】

産後2か月までの母が利用する家事代行サービス利用料の一部を助成する。

- (1)対象者 出産後2か月以内
- (2)派遣回数 出産後2か月以内 5回まで
- (3)助成方法

利用者は家事代行サービス利用料の一部を自己負担し、利用料の差額については、市が家事代行サービス提供事業所に対して助成する。

(4)事業スケジュール

- 4～9月 県及びサービス提供事業者との協議、選定、事業の周知
サービス提供者への研修会開催(県事業)
- 10月～ サービス事業を実施

【事業費】

430千円

費用負担

県負担 170千円
市負担 260千円



担当:こども課

子育て支援係 23-1006

子育て支援

人口減少・高齢社会対策

＜継続＞

市立保育所大規模修繕事業

【目的】

少子化を見据え、保育園の適正配置を考え、長期的視野に立ち老朽化した園舎の整備・補修を計画的に行い、園舎の長寿命化対策を図る。

【概要】

工事内容及び工事スケジュール

(1) 経田保育園調理室外改修工事(H29度 設計業務委託実施済)

7月25日～8月31日

将来的な調理業務委託を見据えた調理室の改修

感染症防止の観点から調理員専用トイレの設置

建物内の雨漏り修理

(公共施設等適正管理推事業長寿命化事業)



(2) 青島保育園煙突上部撤去工事

10月以降

現在使用していない煙突(アスベスト含む)にひびが入っており危険部分の撤去及びアスベスト封鎖工事



【事業費】

35,266千円

費用負担

市債 30,800千円

市負担 4,466千円

担当:こども課

保育係 23-1079

＜拡充＞子ども健診事業

【目的】

聴覚及び視覚の異常の早期発見・早期治療を目的として、新たに新生児聴覚検査費の助成や視覚検査機器の導入により、子どもに関する健診体制の充実を図る。

【概要】

(1) 新生児聴覚検査費助成

新生児の聴覚障害を早期に発見し、早期に治療を図るために、令和2年4月より新生児聴覚検査の費用を1人上限5,000円として助成する。令和元年度時点で、全自治体で助成を実施していないのは、富山県と福井県のみである。

※ 新生児聴覚検査の初回は、概ね生後3日以内に実施され、先天性の聴覚障害は、早期発見による治療が行われれば、子どもの言語発達の影響を最小限に抑えられることが期待される。



(2) 弱視検査用機器の整備

弱視や斜視等の視覚障害を早期に発見し、早期に治療を図るため3歳児健康診査に弱視検査用機器を導入する。

※ 従来は、輪の絵図を用いて、途切れている方向を子どもに指で示させる検査で、時間もかかり、個人差もあり正確な判断が困難であったが、専用の検査機器を使用することにより、短時間で精度の高い検査が可能となる。



【事業費】

2,488千円

費用負担

市負担 2,488千円

担当課：健康センター課

母子保健係 24-3999

＜新規＞子宮頸がん検診 HPV検査導入モデル事業

【目的】

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)というありふれたウイルスの持続的な感染が原因とされていることから、現在実施している子宮頸がん検診(細胞診)に併せてHPV検査をモデル的に導入することで、若い世代に対する健康づくりの推進や、費用を含めた効果的で精度の高い子宮頸がん検診の体制について検討する。

【概要】

(1) 子宮頸がん検診において、従来の細胞診の受診時にHPV検査の同意が得られた方を対象に、HPV検査を併せて実施する。(市単独での実施は県内初)

＜対象＞ 魚津市に住所を有する 25歳～42歳 で市の検診を受ける方

* 子宮頸がんは30～40歳代で増加傾向にあり、20歳代での発症もみられること。併せて、市では少子化対策に寄与することを目的に、妻の年齢が43歳未満を対象として、「不妊治療」に係る費用の一部を助成していることを踏まえて設定。

* 対象者数 約 1,600人 (参考:H30 子宮頸がん検診受診率 26.4%)

＜実施方法＞

魚津市内で子宮頸がん検診を受けられる医療機関または集団検診で以下の検査を実施

○細胞診 … 子宮頸部の細胞をブラシなどで採取して顕微鏡で調べる検査

○(新)HPV検査 … 細胞診で採取した細胞と同じものを用いて検査

* 受診者は今までと同じ検査方法で、詳しく調べることとなり、がんになる前の病変(前がん病変)の発見精度が高まる。

＜費用(自己負担額)＞ HPV検査 1,500円 (細胞診の費用負担は別にあり)

(2) モデル事業の結果を踏まえて子宮頸がん検診の体制について検討

【事業費】

3,443千円

費用負担

市負担 3,053千円
受診者負担 390千円



担当: 健康センター

健康づくり係 24-3999

＜拡充＞公園施設長寿命化対策事業

【目的】

公園施設の計画的な維持修繕、更新を行い施設の長寿命化を図りながら、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、地域の特性に応じた公園の利活用を検討し、誰もが安全で安心して利用でき、魅力ある公園づくりを目指す。

【概要】

○公園施設長寿命化対策事業(令和元年度～令和4年度)

・公園施設長寿命化計画に基づき、各公園施設の維持修繕、改修を行う。

◆令和元年度(3月補正) 改修箇所

・総合公園(冒険広場内)遊具外

◆令和2年度 改修箇所

・総合公園(ミラージュランド内)トイレ外

遊具改修イメージ



【事業費】

令和元年度3月補正 30,000千円(令和元年度 当初20,000千円)

令和2年度当初予算 30,000千円

令和2年度費用負担

国負担	10,000千円
市負担	20,000千円
(うち市債)	18,000千円)

トイレ改修イメージ



担当:都市計画課

計画公園係 23-1030

子育て支援

教育環境充実

魅力的なまちづくり

＜新規＞ ふれあい・展示グレードアップ事業

【目的】

魚津水族館では、ホタルイカ発光実験や富山湾大水槽・アザラシ・ペンギンのお食事タイムやおさかなショー等のイベントを行ってきた。従来の見せるのみのイベントを、飼育員との「ふれあい・対話」型にすることで、以前から要望を受けていた飼育員とのふれあいが可能になり、展示の一部もグレードアップする。

【概要】

【ホタルイカ発光実験】《ふれあい》《展示》

一度により多くのお客様に見てもらえるよう水槽を拡張し、発光実験では見られないホタルイカの映像を解説に組み込む。新しい形のホタルイカ発光実験を行うことで、ホタルイカへの理解度の向上を図る。

【富山湾大水槽お食事タイム】《ふれあい》《展示》

1日4回ダイバー（飼育員）が餌やりを行っているが、うち2回をバックヤードから飼育員が解説しながら餌やりを行う。従来とは別の視点から魚を観察できると同時に、よりお客様との交流を広げることができる。お客様の餌やり体験にもつなげていきたい。

【飼育員の館内解説】《ふれあい》《展示》

飼育員が水槽の前で生物解説をする。ライブで会話することで、お客様から質問をいただくことや、解説パネルでは伝えられないタイムリーな情報等を伝える事が可能となる。

【ジャングルコーナー導入部】《展示》

2階の富山にこだわった展示から3階へと通じるジャングルコーナーは、導入部が奥まっっており見えにくい。展示内容が富山からジャングルへと急変する。そこで、ジャングルコーナー導入部の壁面にプロジェクターを設置することで、動線にインパクトをつけ、海とジャングルの関係性等を解説する。

【事業費】

2,347 千円

費用負担

市負担

2,347千円



担当：水族博物館

24-4100

教育環境充実

＜拡充＞ICT環境整備事業（GIGAスクール構想の実現）

【目的】

新学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、その育成を図るとともに積極的なICT活用が求められている。

そのために必要なICT環境整備を行うことにより、学習指導要領の求める資質・能力を育成、深化し、子供の力を最大限に引き出すことを目的とする。

【概要】

令和2年度は、市内全小中学校の高速大容量の通信ネットワーク環境整備と中学1年生、小学5、6年生の3学年分の端末整備とを行います。端末整備は段階的に行うこととし、令和5年度までに、小中全学年での児童生徒1人1台コンピュータの実現を目指します。端末整備は県内自治体による共同調達を行う予定です。



◎端末整備年次計画（児童生徒数は見込み）

【事業費】

令和2年度分

176, 698千円

整備年度	対象学年	児童生徒数
令和2年	中学1年、小学5、6年	970名
令和3年	中学2、3年	646名
令和4年	小学3、4年	570名
令和5年	小学1、2年	531名

整備費内訳

校内通信ネットワーク回線増強工事等
学習用端末整備（970台）

113, 648千円
63, 050千円

費用負担

国負担 76, 965千円
市負担 99, 733千円
（うち市債 56, 400千円）

担当：教育総務課

総務係 23-1043

教育環境充実

< 拡充 > ICT環境整備事業(電子黒板整備)

【目的】

令和2年度から小学校において新しい学習指導要領が実施される。またGIGAスクール構想により、1人1台コンピュータが整備され、デジタル教科書を活用しての授業が必要不可欠とされている。

今回、小学校の全ての普通教室に電子黒板を配置し、英語教育やプログラミング学習をはじめ様々な教科での学習効果の向上を図るもの。



【概要】

現在、各小学校には、PC室に1台、各階に1台の電子黒板を配置している。

令和2年度に各小学校に指導者用デジタル教科書を導入することから、全普通教室で活用できるよう電子黒板を整備するもの。

電子黒板導入予定台数 47台(小学校普通教室数61台－既存14台)
@660千円×47台≒31,000千円(5年リース)

【事業費】

予算額 6,200千円
(残額 債務負担行為 24,800千円 R3～R6)

費用負担
市負担 6,200千円

担当:教育総務課
総務係 23-1043

教育環境充実

＜新規＞デジタル教科書導入事業

【目的・概要】

小学校学習指導要領の全面実施に伴い、令和2年度から新たに採択された教科書を用いて授業が実施される。

通常の教科書とは別に、指導者用デジタル教科書を購入することにより、デジタル教科書と電子黒板・タブレット端末等を用いた授業ができる環境を整備し推進することで、児童の学習への理解と関心を高めようとするもの。

○新学習指導要領による指導者用教科書等の購入 5,203千円

(内訳) 国語 6学年分 算数 6学年分 英語(5・6年生分)

※R2年度より教科化

デジタル教科書の活用効果

①分かりやすい授業 ②自由度の高い授業 ③授業準備の効率化

【事業費】

5,203千円

費用負担

市の負担 5,203千円



担当: 学校教育課

学校教育係 23-1044

教育環境充実

＜新規＞プログラミング教育推進事業

【目的】

2020年度からプログラミング教育が導入されることから、指導体制の充実や教員の指導力の向上を図るとともに、企業や学校と連携して魚津市独自の取組みを推進する。

【内容】

○魚津市プログラミング教育推進会議(年2回) 135千円

・プログラミング教育の計画策定・実践の中心的な役割を担う「プログラミング教育推進チーム」を組織する。学識経験者をアドバイザーとして、民間からの助言等をもらいながら指導計画に活かす。

○小学校の授業で利用するプログラミング教材の購入 726千円

(その他)

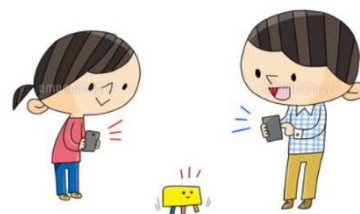
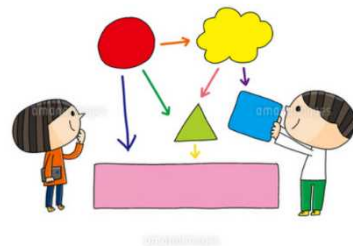
・県外先進地での研修への教員の派遣(2名) 80千円

【事業費】

941千円

報償費 135千円 旅 費 80千円
消耗品費 726千円

費用負担
市の負担 941千円



担当:学校教育課

学校教育係 23-1044

教育環境充実

＜拡充＞英語教育推進事業

【目的】

児童が英語に親しむとともに、英語を通じて人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の向上を目指し、グローバル化に対応した英語教育を推進する。

【概要】

○小学校からの英語教育の推進

小学校学習指導要領の全面実施に伴い、英語の教科化等により年間授業時数が増加することから、小学校専任のALTを1名増員するもの。

【ALTの配置：小学校2名→3名に増員】

- 1・2年生→年間10時間（市独自に実施） すべての学校にALTを配置
- 3・4年生→年間35時間（外国語活動） 2校にALTを、3校に英語活動指導員を配置
- 5・6年生→年間70時間（外国語科） すべての学校にALTを配置

○英語教育在り方検討会

平成29年度に策定した「小学校英語教育推進計画」に基づき、英語教育在り方検討会を開催し、成果の検証と課題への対応を協議し、今後の英語教育の充実に向けて対策を検討する。

【事業費】

26,033千円

主な経費

- ・小学校 ALT3名（1名増員） 英語活動指導員1名
- ・中学校 ALT2名 25,918千円
- ・英語教育在り方検討会の開催等 115千円

費用負担（千円）

市の負担 26,033千円



担当：学校教育課

学校教育係 23-1044

教育環境充実

観光振興

魅力的なまちづくり

＜新規＞ 国登録文化財普及啓発事業
(文化財保存事業)

【目的】

「東山円筒分水槽」「魚津浦の蜃気楼(御旅屋跡)」の文化財登録を契機に、市民が文化財への関心と理解を深め、地域への愛着や誇りを高めることを目的とする。

郷土への誇りを持つことによって、観光資源の魅力をさらに向上させ、市内にある他の地域資源への回遊・波及効果をねらい、関係人口や交流人口の増加につなげていく。

【概要】

◆まずは、知ることから。

新たな文化財を追加した解説冊子と登録文化財を網羅したパンフを作成。

◆“日本一美しい”円筒分水をもっと知ってほしい！

現地で見て、親しみ、深く知る、じっくり学ぶ講座を開催。

◆今まで知らなかった、御旅屋跡！

新たな名所となる大町海岸公園に解説板を設置。

【事業費】

2,000千円

＜主な事業経費＞

- ①円筒分水講座の開催 【事業費:150千円】
- ②『魚津の文化財』紹介冊子改訂版作成
【事業費:475千円】
- ③登録文化財紹介パンフレット作成
【事業費:403千円】
- ④登録文化財解説板作成・設置
【事業費:572千円】
- ⑤登録文化財銘板設置工事 【事業費:400千円】

費用負担

地域づくり基金 2,000千円



担当課:生涯学習・スポーツ課

生涯学習・文化係 23-1045

教育環境充実

人口減少・高齢社会対策

＜新規＞

日本ボッチャ選手権開催支援事業

【目的】

東京パラリンピック正式種目であるボッチャ競技の全日本選手権の開催を支援することにより、性別、年齢、障がいに関わらず、誰もが取り組めるボッチャ競技の普及に努め、生涯スポーツの振興を図る。県内では初開催。

併せて大会の開催を通じて魚津市の魅力を全国にPRする。

【概要】

- 開催日 10月30日(金)～11月1日(日)
- 会場 ありそドーム
- 主催 一般社団法人日本ボッチャ協会
- 内容 10月30日(金)～31日(土) 予選リーグ
11月1日(日) 決勝トーナメント
- 参加数 選手約50名 他役員、観客など

※カテゴリー

- ・BC1※藤井選手も本クラス
車いす操作不可で四肢・体幹に重度の麻痺がある脳原性疾のみのクラス
- ・BC2
上肢で車いす操作がある程度可能で脳原性疾者のみのクラス
- ・BC3
最も障がいの重いクラス。競技アシスタントのサポーターにてランプ(道具)を使用
- ・BC4
頸髄損傷や筋ジストロフィーなど、BC1・2と同等の重度四肢機能障がいのあるクラス

【事業費】

1,163千円

(内訳)

(仮称)日本ボッチャ選手権開催支援事業

実行委員会補助金 1,163千円

【会場使用料、車両借上げ料、旅費等】

費用負担

市負担 1,163千円

担当:生涯学習・スポーツ課

スポーツ係 23-1046



＜新規＞東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー事業

【目的】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における、オリンピック聖火リレーミニセレブレーションやパラリンピック採火を市民一体となって実施することにより、東京オリンピック・パラリンピックの機運を醸成し、スポーツに取り組む意欲の向上につなげ、生涯スポーツの振興を図る。

【概要】

○オリンピック聖火リレーミニセレブレーション事業

- ・実施日 6月4日(木)
- ・会場 ありそドーム
ウエルカムセレモニー(歓迎式)
中継地セレモニー
(聖火の入場→聖火ランナーの聖火トーチへ点火)

○聖火リレー(上記セレモニー終了後)

- ・スタート地点【ありそドーム】→ゴール地点【大町公民館付近】

○パラリンピック採火事業

- ・実施日 8月中旬
- ・会場 諏訪神社
- ・内容 諏訪神社境内でパラリンピック聖火用の火を起し、宮司による祈祷を行った後、県出立式会場(富山市)へ運搬する。(県内から集められた火を一つにし、富山県のパラリンピック聖火として東京に送る。)



【事業費】

3,000千円

(内訳)

- | | |
|--------------------------|---------|
| ・オリンピック聖火リレーミニセレブレーション事業 | 1,204千円 |
| ・パラリンピック採火事業 | 300千円 |
| ・オリンピック聖火リレー富山県負担金 | 1,496千円 |

費用負担

市負担 3,000千円

担当:生涯学習・スポーツ課

スポーツ係 23-1046

＜新規＞ 東京オリンピック・パラリンピックPR事業

【目的】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、市出身の出場選手等を応援する横断幕やPRパネル等を作成し、展示ブースを設置することにより、市民へ身近な選手の活躍を広くアピールすることで、大会の機運醸成と供に、スポーツ全体の競技力向上に寄与する。

また、オリパラ正式種目であるボッチャ体験交流会やオリンピック・パラリンピック機運醸成教室を開催し、性別や年齢、障がいを問わず、誰もが取り組めるスポーツの普及を進めることにより、生涯スポーツの推進やスポーツ機会の充実に努める。

【概要】

○PRブースの設置

東京2020オリンピック・パラリンピックに関連するパネルや市出身等の出場選手の応援を支援するためのPRポスター、応援横断幕、懸垂幕やパネルを作成し展示する。

・会場 ありそドーム、市役所

○ボッチャ体験交流会の開催

市内小学校や民間事業者等に対し、ボッチャ体験交流会を開催する。

○パラスポーツ体験型授業の開催

(公財)日本財団パラリンピックサポートセンターから派遣されるパラアスリートを講師とした体験型授業を開催する。

【事業費】

1, 274千円

(内訳)

・PR会場設営料	600千円
・PRポスター、懸垂幕等作成料	500千円
・ボッチャ教室開催費	84千円
・あすチャレ！事業開催負担金	90千円



費用負担

市負担 1, 274千円

担当:生涯学習・スポーツ課

スポーツ係 23-1046

＜新規＞ トップアスリートによるスポーツ教室開催事業

【目的】

子どもの体力向上、競技スポーツの普及や技術力の向上を図るため、多様な種目の国内トップアスリートを招聘し、小中高校生等を対象にスポーツ教室を開催する。併せて、民間との連携した街づくりを進めるため、企業スポーツチームとの連携PR活動を実施する。

【概要】

○ラグビー・バレーボールクリニック(UO!SPO連携事業)

- ・実施日 6月12日(金)～14日(日)
- ・会場 桃山運動公園多目的広場・ありそドーム等
- ・指導 【ラグビー】パナソニックワイルドナイツ
【バレーボール】パナソニックパンサーズ

○卓球クリニック

- ・実施日 10月以降
- ・会場 ありそドーム
- ・指導 未定

○SOMPOボールゲームフェスタ2020in魚津市

- ・実施日 9月22日(火・祝)
- ・会場 ありそドーム
- ・指導 一般社団法人日本トップリーグ連携機構
- ・種目 4種目(ラグビー、サッカー、バスケットボール、バレーボール)
※県東部初開催(H29南砺市 H30氷見市 H31小矢部市)



【事業費】

1,130千円

(内訳)

- ・ラグビー・バレーボールクリニック 513千円
- ・卓球クリニック 517千円
- ・SOMPOボールゲームフェスタ2020in魚津市 0千円
- ・企業スポーツチームとの連携PR事業(商工観光課連携事業) 100千円

費用負担

市負担 1,130千円

担当:生涯学習・スポーツ課

スポーツ係 23-1046

観光振興

魅力的なまちづくり

人口減少・高齢社会対策

＜新規＞ 魚津の果樹応援事業

【目的】

魚津の特産品である果樹を活かし、未来につながるファンを着実につくる。地域に利益をもたらし続ける仕組みを構築し、果樹のまち・魚津の魅力を内外に発信する。

市内の子ども・ファミリー層を「ウチマゴ」とし、摘果作業や収穫を体験する「学び」の場を設ける。また、将来パティシエを目指す製菓学校の学生を「ソトマゴ」とし、魚津の旬の果樹生産地をめぐり、生産者とつながるフィールド学習を行い、新たなスイーツの開発や販売に結びつけるとともに、将来的な生産者との交流や販売の継続・拡大につなげる。

【概要】

○果樹の収穫や作業体験

ファミリー層を対象にした収穫・作業体験を実施。

○魚津の果樹を使った加工品開発、試作品販売

製菓学校と連携し加工品開発や試作品などを販売。

○「魚津の果樹まるごと体感バスツアー」

園地訪問による生産者とのつながりづくりをはじめ、水循環（円筒分水槽など）をからめた魚津の果樹の魅力を体感するツアーの実施。

【事業費】

738千円

費用負担
市負担

738千円



担当：農林水産課

農産振興係 23-1034

観光振興

魅力的なまちづくり

＜新規＞ 東山円筒分水槽周辺整備事業

【目的】

魚津市水循環遺産に選定・登録されている「東山円筒分水槽」は、令和2年度中に国の登録有形文化財（建造物）に登録予定であることから、見学者や観光客の増加が見込まれる。

円筒分水槽の隣接地に、魚津の水循環がもたらす恵みと自然の魅力を体感できる拠点としてポケットパークを整備し、見学者や観光客の利便性と円筒分水槽の認知度向上、ひいては地域の賑わい創出につなげるもの。

【概要】

○ポケットパークの整備

円筒分水槽をゆっくりと見学でき、周囲の景観にマッチする憩いの広場

障害者対応を含めた駐車場の設置

田園サイクリングコース随一の見どころでもあり、自転車用ラックを設置

“日本一美しい”といわれる円筒分水槽を見渡せる高台を設ける

スペースを利用し催事も可能

○大型車両用の駐車場

団体での見学向けに、大型車（マイクロバス等）駐車場を周辺に確保する

【事業費】

20,064千円

費用負担

市負担 20,064千円
(うち市債 18,000千円)

担当:

環境安全課 環境政策係 23-1004
建設課 整備改良係 23-1029



観光振興

魅力的なまちづくり

＜新規＞ 東山円筒分水槽PR事業
～うおづの水がもたらすモノ～

【目的】

東山円筒分水槽の国登録有形文化財(建造物)への登録を契機として、魚津の恵まれた水がもたらす豊かな自然と食にスポットを当ててPRすることで魚津市の知名度UPと観光客の誘致につなげる。

【概要】

○「うおづの水がもたらすモノ展」の開催

日本橋とやま館においてパネル展示・果樹加工品等(Vita di fruttaのジャム等)の販売を行い、魚津の魅力をPRする。

○東山円筒分水槽文化財登録PRネックラベル

うおづのうまい水のネックラベルを作成し、購入者に対して、東山円筒分水槽文化財登録の紹介とPRを行う。

○魚津の水循環体感ツアーの企画

民間事業者と連携し、魚津の水循環体感ツアーを企画。魚津ファンの獲得を目標とするとともに、ふるさと寄附の返礼品として財源確保を目指す。

○民間事業者と連携したPR

民間事業者と連携し、三大都市圏の支店において東山円筒分水槽やリンゴオーナー制度等のPRを行い、関係人口の増加を目指す。

【事業費】

660千円

◆主な経費

- ・委託料:440千円(展示、販売委託料)
- ・旅費:70千円(PR交通費など)
- ・印刷製本費:150千円(ネックラベルデザイン、印刷費)



費用負担
市負担

660千円

担当:企画政策課

企画係 23-1067

観光振興

＜拡充＞ 観光・物産宣伝事業 (映画ロケ地等PRキャンペーン)

【目的】

魚津市内をはじめ県内各地でロケが行われた映画の公開に合わせて、映画の舞台となったロケ地等の紹介を行うことで、本市の魅力を発信するとともに、県内外からの誘客、交流人口の増加を図る。

【概要】

富山県ロケーションオフィス及びロケが行われた自治体と連携したプロモーション活動

※令和2年度公開予定作品：映画「大コメ騒動」ほか2本

※映画「大コメ騒動」

大正時代の米騒動をテーマに力強く生き抜く女性たちの姿を描く娯楽作品

監督：本木克英 主演：井上真央

○ロケ地マップ制作・発行

ロケ地の紹介、アクセス方法等をPR

全国の映画館、県内観光施設、商業施設等で配布予定

○パネル展

公共施設、県外の物販施設等で実施予定

○新聞広告掲載



【事業費】

各映画PR実行委員会への負担金 1,500千円

費用負担

市負担

1,500千円

担当：商工観光課

観光戦略係 23-1025

観光振興

魅力的なまちづくり

＜新規＞ 「魚津浦の蜃気楼」企画展事業

【目的】

全国初の気象関連の登録記念物となる「魚津浦の蜃気楼(御旅屋跡)」について、江戸時代に魚津で描かれたユニークな蜃気楼画『喜見城之図』の実物展示等を通してその価値をPRする。また「魚津浦の蜃気楼」の登録の意義や観光資源としての楽しみ方等の講演会を開催し、市内外にアピールする。

【概要】

◆企画展

期間：令和2年5月1日(金)～8月31日(月)

場所：魚津埋没林博物館 テーマ館

内容：『喜見城之図』(きけんじょうのず)『寛文東行紀』(かんぶんとうこうき)等登録の根拠となった歴史資料の実物

展示(金沢市立近世史料館から借用)を核に、分かりやすく楽しく構成する。また、展示の中で風景街道の登録もPRし、企画展のパネル等は、風景街道交流会議等でも活用する。

◆特別講演会(2回を計画)

開催時期：第1回 令和2年5月中旬、第2回 令和2年7月下旬
(日時は講師決定後調整)

場所：魚津埋没林博物館 ハイビジョンホール

講師：文化財関係者、気象(蜃気楼)・地域資源関係者等

内容：気象関連として全国初の登録記念物となる意義、観光資源としての楽しみ方の提案等。

【事業費】

1,500千円

費用負担
市負担 1,500千円



『喜見城之図』

担当：埋没林博物館

管理係 22-1049

観光振興

魅力的なまちづくり

＜新規＞

北陸風景街道交流会議開催事業

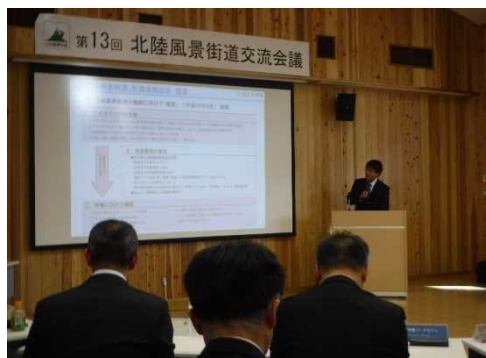
【目的】

北陸地区の日本風景街道登録ルート間の情報交換・人的交流を目的とした「北陸風景街道交流会議」を、令和2年11月に魚津市で開催する。
※日本風景街道（令和元年12月現在、全国で143ルートが登録）に、魚津市は令和元年度中に登録申請を行う予定である。

【概要】

- ・開催日時 令和2年11月10日（火）～11日（水） ※予定
- ・国土交通省北陸地方整備局管内にある日本風景街道登録ルートの代表者等が集まる交流会議を開催する。
- ・現地見学会を開催し、市内の各地域資源を視察する。
- ・行程（案）
 - （1日目） 交流会議・意見交換会
 - （2日目） 現地見学会 ※予定
 - 魚津埋没林博物館
 - 魚津水族博物館
 - 米騒動発祥の地
 - 魚津丸食堂

＜R1年度交流会議の様子＞
※新潟県佐渡市



【事業費】

388千円

費用負担
市負担

388千円

担当：建設課

業務係 23-1028

観光振興

魅力的なまちづくり

＜新規＞ シティプロモーション事業(動画制作)

【目的】

映像や音で感覚的に魚津市の魅力が伝わる動画を作成し、市外でのイベント、フォーラム等で活用することにより、魚津市のイメージアップ、交流人口および移住者増を目的とする。

【概要】

- ・四季折々の自然やイベントを通した魚津市の魅力を、コンパクトに凝縮したイメージ動画を作成する。
- ・主に県外や海外の方などに対して、短時間で感覚的に魚津市をイメージを伝えられるものとする。
- ・観光キャンペーンや移住・定住フェア会場での活用、ホームページや、動画サイトなど、各種媒体や機会積極的に発信する。



※写真はイメージです

【事業費】

1,500千円

費用負担
市負担 1,500千円

担当:企画政策課

企画係 23-1067

広報広聴係 23-1015

観光振興

魅力的なまちづくり

＜新規＞ 片貝コミュニティセンター化事業

【目的】

片貝公民館を、豊かな自然を体験し、宿泊できる施設として活用し、県内外から多くの人々が来訪する機会を創出し、関係人口や交流人口の拡大により、地域の活性化を図る。

【概要】

令和2年度から予定している宿泊事業開始に伴い、片貝公民館をコミュニティセンターに移行する。

◇地域振興会等への施設管理運営委託

◇施設使用料の有料化

宿泊 高校生以上3,000円/1泊1人

中学生以下2,000円/1泊1人

研修室等100円～400円/時

◇施設

宿泊室 3室、研修室 2室、調理加工室 1室、

体験室 4室、交流サロン、体育館、グラウンド等

◇主なスケジュール

令和2年3月 改修工事完了

4月 コミュニティセンター移行
(受け入れ準備期間)

5月 宿泊者受入開始

【事業費】

5,017千円

◇清掃委託料、光熱水費等5,017千円

※既存施設としての維持管理費を含む総額

費用負担

施設利用料収入 1,975千円

市負担 3,042千円



担当:地域協働課

協働推進係 23-1017

産業振興

魅力的なまちづくり

＜拡充＞ ふるさと寄附推進事業

【目的】

寄附者へ贈る特産品をとおして、魚津市の魅力を伝える。

【概要】

- ・5つのふるさと納税ポータルサイトで寄附受付（令和元年度より継続）
- ・返礼品数の追加（現在167品⇒250品）
- ・PRの改善（寄附者との継続的な関係づくり）



主な経費

・返礼品等	60,000千円
・事務委託費等	42,018千円
・PR経費等	151千円

【予算状況】

予算額	寄附額 (歳入)	返礼品・事務費等 (歳出)	実質的な 収入
令和元年度現計	140,000千円	73,297千円	66,703千円
令和2年度当初	200,000千円	102,169千円	97,831千円

担当課:企画政策課

企画係 23-1067

産業振興

< 拡充 > サテライトオフィス設置促進事業

【目的】

ワークライフバランスなど新しい働き方の機運が高まる中、市内においてサテライトオフィスを誘致することにより、市内への人の流れを促進し、新たな雇用の創出やUIJターンの推進を図る。

【概要】

① 広報・営業活動（新） 1, 347千円

マッチングフェア出展（県主催、民間主催）等

② 現地誘導活動（新） 807千円

現地見学会開催

※魚津市にオフィス設置を検討している企業を対象に見学会を開催する。
企業担当者（10社程度）に対し魚津までの旅費を支給する。
その他開催に必要なPRパンフレットなどを作成する。

③ 体験支援（新） 13, 500千円

お試しオフィス整備（4社分）

※旧村木小学校2階の3教室を体験型オフィス及び共有の交流スペースに整備する。

④ 定着支援（継） 2, 200千円

改装費助成（3/10） 上限1,000千円

運営費助成（3/10） 上限100千円×12ヶ月＝1,200千円

【事業費】

17, 854千円（R1 2, 200千円）

費用負担

市債	10, 300千円
県負担	900千円
市負担	6, 654千円

担当：商工観光課

創業支援・企業立地係 23-1096



産業振興

<拡充> 企業立地事業

【目的】

市内における工場・事業所等の新規立地及び事業拡張による増設に対して助成を行うことにより、市内企業の振興及び雇用の拡大を図る。

【概要】

企業立地助成金(市単独)

① 工場等の新增設に関する助成

(交付要件)

投下固定資産額(土地、建物及び償却資産の合計額)が1億円以上となる工場等の新設・増設等を行い、かつ県内在住者を5人以上新規に雇用すること。

(補助内容)

対象となる固定資産取得額の10% ※限度額:3,000万円

② 雇用の促進に関する助成 ※①の交付対象となる事が前提、②のみの申請は不可。

(補助内容)

①の新規雇用者の内、市内在住者1人につき20万円 ※限度額:2,000万円

◆**対象案件** 製造業1件 工場増設及び駐車場用地取得、造成

◆**助成対象経費(取得額)**

261,028千円(土地73,037千円、建物187,991千円、償却0円)

◆**助成額見込**

① 対象経費×10%=26,102千円

② 対象10人×200千円=2,000千円

<参考>

大規模投資に伴う雇用拡大奨励金(令和2年度からの新助成制度)

工場等の新設・増設を伴わない大規模な設備投資を行った企業に対する支援として、新たな助成制度を創設する。 ※企業立地助成金との併用は不可。

(交付要件)

投下固定資産額が5,000万円以上となる設備投資を行い、かつ市内事業所で雇用する市内在住従業員が5人以上増加すること。

(補助内容)

・増加した市内在住従業員1人につき50万円 ※限度額:500万円



【事業費】

28,102千円(R1 4,200千円)

費用負担

市負担

28,102千円

担当:商工観光課

創業支援・企業立地係 23-6195

産業振興

＜新規＞ 森林経営管理事業（森林環境譲与税活用事業）

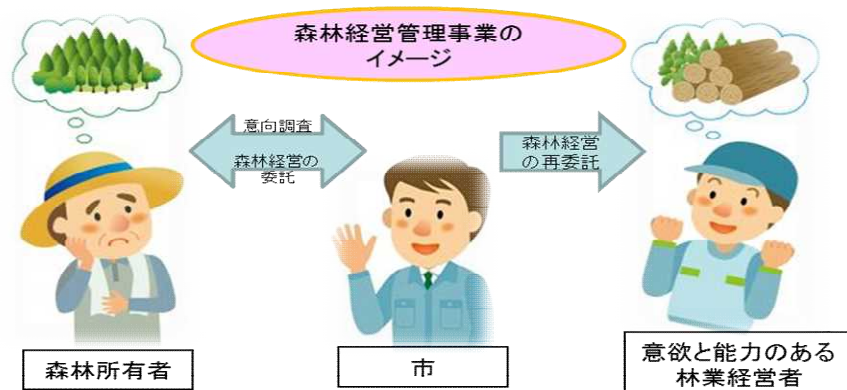
【目的】

事業実施により、管理が行き届いた森林を拡大し、森林の荒廃を防ぐとともに、林業・木材産業の振興を図る。

【概要】

過去10年以上、森林整備が行われていない民有の人工林を対象に、その所有者に対して意向調査を実施する。調査結果をふまえて、市が森林経営管理の委託を受け森林整備を行う。また、森林の状態によっては、意欲と能力のある林業経営者に森林経営管理を再委託する。

令和2年度は、約20haの森林について意向調査を実施。また、その後の森林整備実施に向けた必要な準備として、境界確認や、森林経営管理に関する計画の策定を行う。



【事業費】

14,002千円

委託費（意向調査、計画策定等） 1,257千円

需用費（消耗品費、通信費等） 300千円

積立金（森林環境保全基金へ積立） 12,445千円

費用負担

基金利息 2千円

市負担 14,000千円

※国から交付される森林環境譲与税を充当

担当：農林水産課

業務林政係 23-1036

魅力的なまちづくり

<新規> がん患者補正具購入費用助成事業

【目的】

がん患者の医療用ウィッグ(かつら)や乳房補正具の購入費用の一部を助成することで、がん患者の就労や社会参加を支援し、療養生活の質の向上を図る。

【概要】

■対象者

- ・魚津市に住所を有する男女
- ・がん治療を受けている方、または受けた方
- ・がん治療に伴う脱毛や乳房切除により、補正具を購入した方

■助成額

- ・ウィッグ(かつら)や乳房補正具それぞれの購入費用の1/2または、その上限額を助成する。
(1人につき、それぞれの申請は1回限り)

<上限額>	ウィッグ(かつら)	2万円
	乳房補正具	片側:1万円、両側:2万円

【事業費】

200千円

費用負担
市負担 200千円



担当:健康センター
健康づくり係 24-3999

魅力的なまちづくり

人口減少・高齢社会対策

＜拡充＞ 定住促進事業
（＜新＞ 東京大学インターンシップ受入事業）

【目的】

富山県と合同で東京大学の学生をインターンシップで受入れ、市内の視察や関係者との協議を通じ、公共施設の利活用策や市民参画と協働のまちづくりなどについて課題解決のアイデアを政策提言してもらい、今後の施策の展開へとつなげていく。また、市民との交流等を通じた、魚津市との継続した関係の構築を目指す。

【概要】

○日程（予定） 令和2年8月15日（土）～20日（木）

○内容

- ・市内視察（市民との交流、廃校・空き家等現地視察、農業・漁業体験等）
- ・中山間地域視察（旧片貝小での宿泊を予定）
- ・市内高校生との交流（合同でのフィールドワーク、高校生宅へのホームステイ）
- ・政策提言の発表会

※ 参加者募集日程の関係で、参加者数が確定するのは6月頃を予定

【事業費】

188千円

費用負担

国負担 188千円

市負担 0千円

※「関係人口創出・拡大事業（総務省）」を活用予定



担当：地域協働課

定住応援室 23-1095

魅力的なまちづくり

人口減少・高齢社会対策

＜拡充＞ 定住促進事業

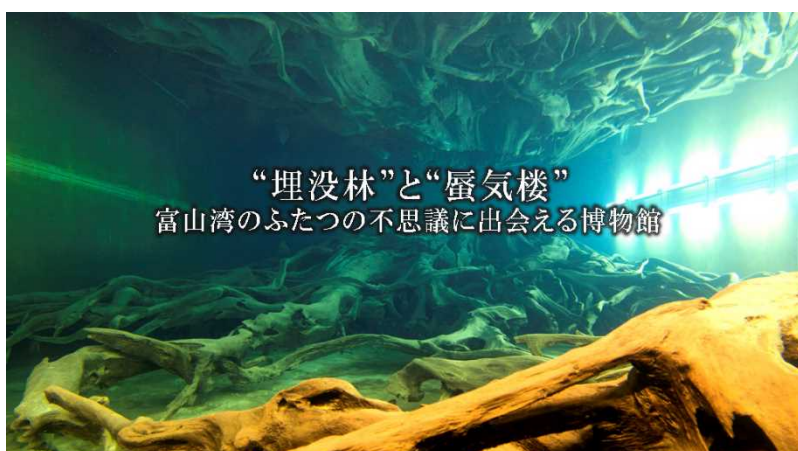
（＜新＞ 転入者への博物館共通年間パスポート購入者への半額補助）

【目的】

転入者に両博物館の共通年間パスポートの購入代金の半額を補助し、転入者が季節（展示）ごとに体験するよう誘導し、その魅力を感じ、また、広く発信してもらうことにより交流人口と関係人口の拡大を図る

【概要】

- 対象者 令和2年4月以降に転入し、転入日から1年以内に申請のあった者
- 申請方法 ①購入した共通年間パスポートの写しと申請書を魚津埋没林博物館若しくは定住応援室に提出
②定住応援室で、転入者であることを審査し、対象者に購入代金の半額を補助
- 事業期間 事業期間は令和2年度から4年度までの3年間



【事業費】

175千円

共通年間パスポート 3,500円/1人 × 1/2 × 100人 = 175,000円

費用負担
市負担

175千円

担当：地域協働課

定住応援室 23-1095

魅力的なまちづくり

<新規> 防災啓発事業

観光客に向けた津波避難誘導啓発事業

【目的】

空撮の写真を活用し、津波発生時の避難経路等を視覚的にわかりやすくした看板を作成し、設置することで、観光客の津波からの速やかな避難につなげる。

【概要】

海側から山側を臨む形で空撮を行い、その写真上に、津波ハザードマップの浸水エリアや、山側への水平避難に対して有効な道路等を記載した看板を作成し、観光客が多く集まる場所に設置する。

《設置予定場所》

- 海の駅「蜷気楼」 1基
- ミラージュランド 1基

【事業費】

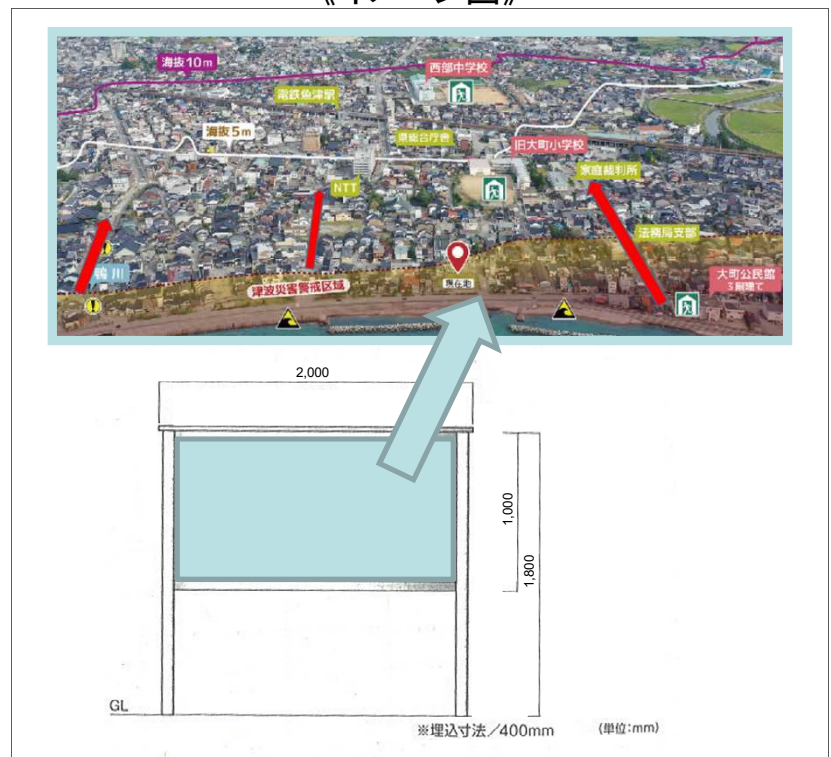
462千円

費用負担

市負担

462千円

《イメージ図》



担当: 総務課

防災係 23-1078

魅力的なまちづくり

＜新規＞ ため池ハザードマップ作成事業 (農村地域防災減災事業)

【目的】

農業水利施設であるため池が地震や集中豪雨により決壊した場合、農用地、農業施設はもとより、地域住民の生命、財産、公共施設に甚大な被害が発生する恐れがある。そのため、ハザードマップを作成することにより日ごろの防災意識の向上を図る。

【概要】

平成28年度に、防災重点ため池11箇所についてため池ハザードマップを作成し、関係地区に配布するとともに市のホームページ上で掲載している。

平成30年度の追加調査で新たに5池が防災重点ため池に指定されたため、5池のため池ハザードマップを追加作成する。

ため池ハザードマップ作成(5池)

業務内容 避難計画の検討

地区詳細図作成

マップ200部作成

防災重点ため池	16池
うちハザードマップ作成済	11池(未作成5池)
(参考)ため池総数	27池

【事業費】

1,900千円

費用負担

県負担	1,800千円
市負担	100千円



担当: 農林水産課

農林整備係 23-1037

＜拡充＞ 魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業

【目的】

人口減少や高齢化社会などの社会情勢の変化に対応するため、市街地を中心に都市機能を高めるとともに、各生活拠点地域から市街地までのアクセス向上を図ることにより、安心・安全で快適な生活環境を実現し、魅力あるまちづくりを目指す。

【概要】

○(都)北鬼江吉島線交差点改良【令和2年度 完了予定】

・北鬼江一丁目地内交差点部の渋滞を緩和するために、右折レーンを新設する拡幅改良整備工事を実施する。

◆令和元年度3月補正 整備概要・・・施行延長L=63.8m 擁壁工等

◆令和2年度当初予算 整備概要・・・舗装工A=970m² 表層工等

交差点改良



【事業費】

令和元年度3月補正 40,000千円（令和元年度当初 26,500千円）

令和2年度当初予算 16,500千円

令和2年度費用負担

国負担 8,250千円

市負担 8,250千円

（うち市債 7,400千円）

担当：都市計画課

計画公園係 23-1030

魅力的なまちづくり

＜新規＞ 土木災害応急措置事業(ドローン配置)

【目的】

近年、全国各地で、相次ぐ豪雨、地震等で、多くの尊い人命が失われ、また、重要インフラの機能に支障をきたすなど、経済や生活に多大な影響が発生している。

このことから、災害発生時に安全かつ速やかに被災状況の確認を行うためのカメラ搭載型ドローンを配置し、災害に強いまちづくりを目指す。

【概要】

- ドローン購入 2台 680千円
- 機体保険料 50千円
- 操作講習会 270千円



出典：国土交通省 東北地方整備局

「ドローンを用いた被災状況動画撮影のポイント集」

(被災状況写真)



出典：国土地理院



出典：国土地理院

【事業費】

1,000千円

費用負担
市負担 1,000千円

担当：建設課

業務係 23-1028

＜新規＞上下水道料金等支払方法拡充事業(コンビニ収納開始)

【目的】

上下水道料金及び開栓手数料のコンビニエンスストア収納を開始し、上下水道使用者の利便性向上を図る。

【概要】

上下水道料金及び開栓手数料の収納システムを改修し、水道使用者がコンビニ納付できるようにする。(令和3年より開始)

これまでは、上下水道料金を納付書で支払う場合は、水道課窓口または市内に本支店がある金融機関に限られていた。また、水道使用開始の際に必要な開栓手数料は水道課窓口での支払いに限られていたが、今回、コンビニ収納を可能とすることで、曜日や時間の制約を受けずに自宅から近くで支払えるようになる。



【事業費】

9,431千円

費用負担

市負担

9,431千円



担当:水道課

業務係 23-1013

＜拡充＞ 介護予防通所型予防事業
さんさん介護予防倶楽部 じゃ～んとこい

【目的】

交通の利便性や高い集客力のある魚津ショッピングスクエアサンプラザ内で、65歳以上の高齢者を対象に、運動機能向上プログラムや認知症予防プログラム等を行う介護予防教室を実施し、高齢者の介護予防の推進及び普及啓発を図る。

【概要】

＜事業内容＞

- ①健康維持・増進（体操運動、栄養改善、口腔機能改善、認知症予防）
 - ・各種体操、脳トレ、脳まめ教室 など
- ②社会参加促進（閉じこもり防止、生きがいづくり、役割づくり）
 - ・教室（折り紙・押し絵・絵手紙・書道・手芸 など）
 - ・サンプラザ商店会と協働した各種教室の開催
 - ・レクリエーション（カラオケ、花札、健康麻雀 など）

【事業費】

10,142千円

＜内訳＞

事業委託料	8,800千円
使用料及び賃借料	1,342千円



費用負担

国負担	2,535千円(1/4)
県負担	1,268千円(1/8)
市負担	1,268千円(1/8)
その他	5,071千円(1/2)

＜地域支援事業交付金＞



担当：地域包括支援センター

予防係 23-1093

＜拡充＞ 生活支援サービス事業

【目的】

経田地区振興協議会が行う①地域住民主体の介護予防通所型サービスB事業、②高齢者の通いの場の創出、介護予防・重度化防止、③多世代交流の場といったコミュニティカフェ事業を支援し、地域の高齢化が進むなか、介護予防を起点とした新しいまちづくりの展開や地域コミュニティの活性化を図る。

【概要】

- 《事業主体》 経田地区振興協議会
- 《対象者》 主に要支援・事業対象者を中心とした地域住民
- 《内容》 ① 介護予防通所型サービスB
② 体操、運動等の活動、趣味教室の運営
③ 通いの場、多世代交流、飲食等を提供するカフェ事業

【事業費】

2,300千円

《内訳》

備品購入費	1,000千円
運営支援補助金	600千円
介護予防サービスB補助金	700千円

費用負担

国負担	1,175千円
県負担	87千円
市負担	688千円
その他	350千円

《高齢者生きがい活動事業補助金》

《地域支援事業交付金》



【旧経田福祉センター】



担当：社会福祉課

高齢福祉係 23-1007

人口減少・高齢社会対策

＜新規＞ フレイル予防推進事業 (保険者機能強化推進交付金事業)

【目的】

高齢者の多くは加齢による心身が老い衰えた状態(フレイル)を経て、徐々に要介護状態に陥るといわれている。今後も高齢化が進み、要支援・要介護認定者が増加すると見込まれるなか、より早期からのフレイル予防を実践し介護予防と健康寿命の延伸を図る。

【概要】

◆高齢者実態悉皆(しっかい)調査〔調査委託費 5,500千円〕

約12,000人の高齢者を対象に心身状態及び日常の困りごとやニーズを調査し、より効果的な介護予防事業(フレイル予防)の施策を展開する。また、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基礎データとして活用する。

◆口腔機能向上事業〔備品購入費 512千円〕

口腔機能測定器を購入し、ふれあい・いきいきサロン、いきいき百歳体操など、住民が主体となって活動する場の参加者に自身の口腔機能を自覚してもらうとともに、保健師等により、その個人にあったオーラルフレイル予防の助言・指導等を行う。

◆魚津市フレイルサポーター養成事業〔報償費等 302千円〕

介護予防に関する専門職の講師による「魚津市フレイルサポーター養成講座」を開設し住民主体の通いの場の担い手の養成と確保を図り、地域主体による介護予防の取り組みを推進する。

【事業費】

6,314千円

費用負担

国負担 6,314千円
《保険者機能強化推進交付金》
補助率:10/10



担当:社会福祉課 高齢福祉係 23-1007

地域包括支援センター 予防係 23-1093